

外部との協働／外部からの評価

大和ハウスグループ 「コンストラクション・カレッジ」開催

当社および当社グループの大和リース、フジタの3社は、建設業における高齢化と入職者の減少を背景に、建設業全体の魅力発信につながる取り組みを合同で開催しました。建築に興味のある学生（大学生、高等専門学校生、専門学校生）を対象に「コンストラクション・カレッジ」を2025年8月にコンgresクエア羽田ホールで実施。当日は108名の学生が参加し、当社グループからは設計/工事（戸建住宅、賃貸住宅、中高層、商業・事業施設）、構造設計、設備、見積、研究開発、都市開発などに携わる技術系社員が、職種ごとにブースを設け、「建設業の魅力」「業務内容」「やりがい」「一日の流れ」などを楽しく具体的に紹介しました。学生からの質疑応答や、実際のCAD画面を見てもらうなどして建設業の魅力ややりがいを伝えました。参加した学生からは「学校でやっていることの延長線がBIMで反映されていたので、3Dをやっている意味があるんだと感じられた」「四足歩行ロボットやVRプレゼンゲートウェイなどの新技術に触れ、建設業界のさまざまな取り組みについて知ることができた」といった感想があがりました。技術系社員自らが建設業の魅力を発信し、将来の進路の選択肢の一つとして「建設業」を認識してもらうきっかけづくりを行い、業界全体の活性化に貢献していきます。



「コンストラクション・カレッジ」の様子

主な認定・表彰など

「CDP気候変動」「CDPフォレスト」「CDP水セキュリティ」の全分野において、 最高評価の「Aリスト企業」に選定

当社は、「CDP気候変動」「CDPフォレスト」「CDP水セキュリティ」の全分野において最高評価の「Aリスト企業」に選定され、当社の環境への取り組みと情報開示が総合的に評価されました。「CDP気候変動」のAリストは8年連続、「CDP水セキュリティ」のAリスト選定は4年連続となります。

CDPは、機関投資家などと協働して、企業に対して環境情報の開示・管理を促しています。2025年は、22,100社以上がCDPを通じて情報を開示しました。CDPでは、企業や政府による環境の取り組みを評価しており、温室効果ガス排出量削減に関する「CDP気候変動」、水資源の保護に関する「CDP水セキュリティ」、森林資源の保全に関する「CDPフォレスト」のそれぞれの調査において、活動実績を8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「Aリスト」に選定しています。

また、「CDPサプライヤーエンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に7年連続で認定されました。



-  [「CDP気候変動」と「CDPフォレスト」、「CDP水セキュリティ」の全分野において、最高評価「Aリスト企業」に選定](#)
-  [CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において最高評価に7年連続で選定](#)

「EcoVadis」のサステナビリティ評価において 「ブロンズ」評価を獲得

当社は、国際的な評価機関であるEcoVadis社（本社：フランス）による2025年のサステナビリティ評価において、「ブロンズ」評価を受けました。

EcoVadis社は、185カ国以上、250以上の業種、15万社以上の企業を対象に、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な調達」の4分野で、サプライチェーン全体での企業のサステナビリティを評価しています。

このたび、当社グループにおけるサステナビリティ活動の評価を受け、評価対象企業の上位35%に入る「ブロンズ」評価を獲得しました。

第7回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門で 環境大臣賞（銀賞）を受賞

当社は、環境省が主催する第7回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門で環境大臣賞（銀賞）を受賞しました。なお、同アワードの受賞は、2021年の「銅賞」、2024年の「銀賞」、2025年の「金賞」に続く4回目となります。

当社は、環境長期ビジョン“Challenge ZERO 2055”の実現に向け、環境行動計画「エンドレス グリーン プログラム 2026」を策定し、中期経営計画や事業戦略と一体で環境経営を推進しています。このたび、温室効果ガス排出量の削減や緑化活動、建物の長寿命化・廃棄物削減といった、環境負荷“ゼロ”に向けた先進的な取り組みに加え、気候変動や自然環境に関連する財務情報の開示についても評価されました。



-  [第7回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門で環境大臣賞（銀賞）を受賞しました](#)

外部からの評価

GPIFによる「優れたサステナビリティ開示」に選定

当社は、2025年度に実施された年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『優れたサステナビリティ開示』」に選定されました。

企業のサステナビリティ開示を評価するため、本調査にはGPIFが国内株式の運用を委託する23の運用機関が参加し、「優れたサステナビリティ開示」89社と「改善度の高いサステナビリティ開示」66社が選定されました。

SSBJ基準の導入など、開示制度の統合・高度化が進むなか、当社は今後もサステナビリティ情報の開示に向けてさらなる充実を図り、積極的に取り組みます。



➤ GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『優れたサステナビリティ開示』と同『改善度の高いサステナビリティ開示』」

サステナブル総合調査2025において、「第7回日経SDGs経営編 ★4.5」を獲得

「第7回日経SDGs経営調査」において、当社は「★4.5」（総合偏差値65以上70未満）と評価されました。

この調査は、日本経済新聞社が上場企業など国内830社について、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを格付けしたもので、「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の計4つの分野が評価されます。当社はこれからも「事業を通じた社会課題の解決」に向けて、さらなる取り組みを進めていきます。



➤ サステナブル総合調査2025

第7回日経SDGs経営調査

第9回日経スマートワーク経営調査実施概要

「CSR企業ランキング2026年版（第20回）」において、12位（建設業2位）にランクイン

「CSR企業ランキング」は、東洋経済新報社が「CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）」の掲載企業について、CSR分野の「人材活用（100点）」「環境（100点）」「企業統治＋社会性（合わせて100点）」に「財務（収益性・安全性・規模：各100点）」を加え、総合600点満点で評価するランキングです。

2026年版（2026年2月に公表）では、当社は建設業において2位、全業種での総合順位は12位にランキングされています。

外部からの評価

■主な ESG 関連の表彰

表彰対象	顕彰名	実施団体	受賞対象
ESG経営	CDP気候変動2025 A(最高評価)	CDP	気候変動に対する戦略や温室効果ガス排出量削減の取り組み
	CDP水セキュリティ2025 A(最高評価)		水資源の保護
	CDPフォレスト2025 A(最高評価)		森林資源の保全
	CDPサプライヤーエンゲージメント評価 「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」(最高評価)		気候変動に対する企業の取り組みを「ガバナンス」「目標」「スコープ3排出量」「バリューチェーン・エンゲージメント」の4分野から評価
	「第7回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン」環境サステナブル企業部門で 「環境大臣賞(銀賞)」を受賞	環境省	「環境関連の重要な機会とリスク」を「企業価値」向上に向け経営戦略に取り込み、 企業価値の向上にもつなげつつ、環境への正の効果を生み出している企業
	「健康経営優良法人2026」に選定	日本健康会議	健康保険組合と連携した優良な健康経営の実践(当社グループ35社が受賞)
	「PRIDE指標2025」で「ゴールド」を受賞	任意団体 work with Pride	女性や障がいのある方、シニア、LGBTQ+など多様な人財が能力を発揮できる職場 風土の醸成の取り組み
	「いーたいけんアワード(青少年の体験活動推進企業表彰)」で 「文部科学大臣賞」を受賞	文部科学省	青少年の体験活動の推進を図ることを目的として、特に優れた社会貢献活動を実践 した企業
商品・サービス	「第4回ABINC賞」で「特別賞」を受賞	一般社団法人いきもの共生事業推進 協議会(ABINC)	「三重朝日物流センター」での生物多様性配慮と水循環、地域協働の取り組み (日本トランスシティ株式会社と当社の共同受賞)
	「2025年度グッドデザイン賞」を受賞	公益財団法人日本デザイン振興会	大和ハウスグループで分譲マンション「玖越花苑(キュウエツカエン)」など8プロ ジェクトで受賞
	「ウッドデザイン賞 2025」を受賞	一般社団法人日本ウッドデザイン協会	「河村電器産業株式会社つくば工場食堂棟」「万博バス停建築プロジェクト 東ゲート 南停留所(通称:wavy)」、間伐材耐火外壁「カンタイパネル」の3作品が受賞 (カンタイパネルは、株式会社芳賀沼製作、当社、当社グループのフジタによる共同 開発)
	「KANSAI DX AWARD 2025」大企業部門で「金賞」を受賞	関西デジタル・マンス実行委員会	BIMの活用や、建設DXに向けた先進的な取り組み

外部からの評価

主要な ESG インデックス組み入れ状況

当社は、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する6つのESG指数（国内株）のうち、5つの構成銘柄に選定されています（2026年3月末時点）。

また、インデックスへの組み入れに加え、投資家などが重視するESG評価を選定しています。結果については、経営層および主管部門に報告を行い、継続的な改善につなげています。

FTSE JPX Blossom Japan Index

本指数は、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより作成されています。環境・社会・ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Russellの評価は、コーポレートガバナンス・健康と安全性・腐敗防止・気候変動といった分野について行われており、FTSE JPX Blossom Japan Indexの構成銘柄である企業は、環境・社会・ガバナンスに関するさまざまな基準を満たしています。



[FTSE Blossom Index Series](#)



**FTSE JPX Blossom
Japan Index**

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

本指数は、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより作成されています。各セクターにおいて相対的に、環境・社会・ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。



[FTSE Blossom Index Series](#)



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

本指数は、MSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社により作成されています。親指数（MSCI 日本株 IMI 指数）構成銘柄の中から、各GICS®業種分類の銘柄数50%を目標に、ESG評価に優れた企業を選別して構築されています。

**2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数**

※

Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

本指数は、Morningstar社により作成されています。Equileapが提供するデータと評価手法を活用し、確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、およびジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点をおいた投資が可能になるよう設計されています。

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

本指数は、日本取引所グループとS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスにより共同開発されました。日本市場の動向を示す代表的な株価指数であるTOPIXをユニバースとし、環境情報の開示状況、炭素効率性（売上高あたり炭素排出量）の水準に着目して、構成銘柄のウェイトを決定しています。



※大和ハウス工業株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による大和ハウス工業株式会社への後援、宣伝、販売促進を意味するものではありません。
MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIおよびその関係会社が所有する商標またはサービスマークです。